明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可 （日刊） 日曜及祭日の翌日休刊 明治四十二年三月六日（土曜日） 第五十一號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●義州便り

へ△生

義州府は昨年末の調査によれば韓人男三、八一九女三、五七八計七千三百九十七八韓人町としては稀なる大市街にして殊に鴨綠江上流の極端なる厚昌郡までは日本里數百餘里ありて朔州昌城碧潼等十數郡を上流に有し平北觀察道の移轉と共に景氣頓に加はり日本人戸數昨年末には百戸男四八九女一〇三計四百九十二人に增加しこれに居留淸國人も亦三十餘ありて建築修繕等丁々の響き非常の加速度を以て發展しつゝあり官衙の主なるものは觀察道を筆頭として義州府日本[illegible]郵便局守備隊及附屬病院、憲兵分遣所財務署金融組合事務所地方區裁判所警察署小學校稅關等にて官民共に韓人との融和は至極圓滿なり、されど一部の耶蘇教徒の如きは依排日の思想を有するやを疑ふ何故なれば韓皇陛下義州行幸に際し日韓公私立學校にてこれが準備の會議を開きしに日韓兩國旗を學徒に持たしむるの議題に至り日旗を持たしむる必要なしとて不同意を唱へ日人教員等の極力主張せしにも拘らず日人少數にして遂に奉迎委員長の決裁にて持たしむることに決せし由官民の圓滿なるにも拘らず學校教員の頭は昧なるを以て彼韓人教員より教育せらるゝ兒童の後世憂ふべきなり、尚ほ學校といへば日本人小學校も現會長村上氏教員と共に熱心に校事の改進を計り内地小學校に劣らざる成績を現はしつゝあれば安心して永住の策を立て來議して可なり柳觀察使及徐府尹何れも日本通にして巧みに日語を話し柳氏の如きは日本人を細君となし徐氏の如きは日語を以て演說をなせしことも見受けし程なり本木書記官大貫寬嚴其度を得日官吏其風に倣ひければ是ぞ日韓官民融和の基をなす喜ぶべきの現象にこそ

旅館料理店は松葉を第一とし常盤玉屋松の屋等何れも數名の婀娜窈窕たる別嬪を囲り客の嚢中を覘ふさかや、衛生機關もよく完備し妓生三牌等迄も檢黴を勵行し市街淸潔爽然たり、觀察道が他へ移轉すべき噂あれども韓人側の地方廳として人口一万を有する安東第一關たる辟遠の十數郡を有する當義州を措いては此地に優る所はあるまじ農作物の如きは支那人が安東縣及び其近在より僅かに來り此地の需要を充すにてあれは農業者の渡來急務なり加ふるに醫師産婆大工左官等の職工印判屋時計屋寫眞屋看屋鍛力屋疊屋鍛冶屋等は最も此地の需要甚しきものなるべし輸出物の主なるものは豆類炭牛及牛皮等にして輸入物は支那酒日本酒及雜貨等なり、統軍亭は府の背西に聳へて日清日露の戰爭の當時鴨綠江軍の指揮官が號令せし所にして一望安東縣新義州を望むべく江を隔つる一里弱にして九連城は指呼の間にあり夏季納涼に適す

文苑

●我輩は新聞紙である　江東

我輩の天職は極めて貴い、從つて權威も甚だ高い、併し商品としての價値は甚だ賤い、一ケ月普通三十五錢か四十錢だ、それも潰しにするとまるで形なしだ、秤に懸けられて何貫目と來る、實際馬鹿にした話しで……其の資本は却々費かつて居る、言ふ勿れ僅か一葉の紙と、見よや一人前の男が三四十人もかゝつて朝から晩迄大騷ぎをしてやッとの事で作り上ぐるのではないか、

●我輩は活字である　北洲

我輩の本体は鉛である、故を以て壽命とては甚だ短かい、なれど天の配剤は極めて妙で、凡ての金屬中我輩の如く活きてる仕事をして居る者は又とあるまい『活字』せいふ意義は即ちうこだ、ダイヤモンドでも金でも銀でも此の點に於ては我輩に及ばない君し夫れ二號又は初號が幽障して爽々的活動したならばそれこそ天下の壯觀、殺すも生かすも何うにでもなる、唯厭なのは疲勞ツマリ老耄した後迄も使はれる事だ。

●上弦の月　松聲

青山清一も斯くは落魄したかな、生年三十有八、敢て牢生江湖に漂到したといふ譯でもないが或る家事の事情から自暴自棄となつたのがソモ〳〵の過りイヤ思[illegible]……今は唯一意前途の運命を開拓する[illegible]闘せねばならぬ、斯う決心が附いた一日も早く此の家を出やうと[illegible]なつて居つた友人に暇を告げ當もなしにぶらりと家をば出た、折柄上弦の月は彼方の山の端に懸つて居る、刃の如き風は薄着の身には酷く堪へる……と五年前の日記を見たら書いてあつた、人生は逆境に處すと斯ういふものかねと熟々感じた、

佐倉宗吾（廿二）

眞龍齋貞水講演

役人が押しかけて來て見ると、道が分らないし、家も知れない　役「コレ〜ッ　○「何事でござんす　役「此邊に五郎藏と云ふ者があるか　○「ハア、五郎藏ッちうのはありますが、一体れ前樣方何方から御出かね　役「吾々に於ては、佐倉領から參つた、捕方の役人だ　○「ホー、捕方の役人……誰れ捕方に來たでがす、五郎藏親分かね　役「イヤ五郎藏の處へ、大竹村の萬兵衛と云ふ者が今日役人を殺して當所へ逃込んだから、其跡を追込んで參つた　○「ハア、五郎藏さんの處へ役人が……ソーレハア止した方が宜かんべ　役「ナニ　○「止した方が宜かんべのよ　役「何が止した方が宜かんべねちや　○「如何に御役人樣が强ねだつて、れ前等人に物を聞くに、そんな權柄的に事を云はねえ方が宜かんべね、此處はこれ、水戸樣の御領分だ、れ前等ハア佐倉領の御役人が、水戸樣の御百姓つかまへて、何もハアそんなに大ね聲しなくても宜いでごせゐせぬか　役「けれども佐倉領の使用人が逃込んだのぢやから、吾々佐倉領の役人が、捕方に參つたのぢや　○「そりやハアそれで宜うがすがね、何もそんなに權柄的に云つたつて、私等ハア佐倉領の役人にや、驚く事ァねねでがす、水戸樣の御役人に爾う云はれるんなら、吃驚する事もあるが、水戸樣御領分へ、佐倉領の御役人が來て、大ね面ァしたつて、驚く者ア一人もねねから　役「そんな事は如何でも宜い、五郎藏の家を教へろ　○「五郎藏の家たしねらうつて、れ前みたやうに、眼ねむくじり出して、口から泡アだして物を聞く野郎に、教へる奴があるかね、此馬鹿野郎ッ、何事を吐く」ボカーン　役「コレッ、役人に對して何事をする、不埒な奴ちや　○「ヤーイ、皆な來いやアー可笑い奴が來やアがつた　△「然うかね」て云うと、ワーッと鎭守の森から大勢出て來る　役「コレ己等、吾々に對して抵抗するかッ　△「何事を吐きやがる此馬鹿野郎がッ」と役人の向う臑を打拂ふ　役「コレ、不禮をするなッ、御用である　▲「イヤ何の御用だ、此馬鹿共」ボカーン　へ「サア皆な打殺すな、殺さねねで打毆れ、ソーラ、斯う云ふ風にやれッて事よ　◉「コーレ、佐倉領の役人、そんな事して打叩いちやいけねねだ、斯しうて突ッついてやるんだなんて止めるんぢやない、尙ほ痛い目に遭はせる　役「ア、又、コレ不埒な　○「不埒も糞もあるもんか」ド頭をこかす、中には足を持て曳摺る、種々な事をやつて苦しめる　甲「コーレ、掛矢なんて止めろ……鋤鍬は宜くねねだ、打殺しちや成んねねから、何でもハア、腕を打挫くにや、拳骨が一番いゝ、巳ハア二人力あるから」大變な奴等が大勢來て、ボカ〳〵毆る役人は這々の體で逃出して來る、すると向うの方へ隠れてゐた土手の蔭の奴が「イヤー來やがつた」と向う臑を搔拂う、不意を喰つて狼狽て、土手から轉げ落ちる、慘々の目に逢つて、川原まで逃げて來たが、船を持て往かれて仕舞つたから、渡ることが出來ない、逡巡する内に川へ放り込まれる、イヤもう生命から〳〵乘込んだ十二人の佐倉領の御役人が立歸り直ちに此事を郡奉行へ訴へる、郡奉行の坂上庄太は、憎い事をする奴であるわい、如何にも捨措かれぬと、城代玄蕃へ此趣を申し上げる、堀田玄蕃に於きましては、容易ならざる水戸領の不埒、何うでも此萬兵衛を取返さなければ、堀田家の御威光にも關はると、以ての外憤激いたしました、此方は万兵衛の親子を伴れて五郎藏が、御家老山野邊主水正殿へ、願書を持て罷り出まして、此段を申し上げる、山野邊主水正、一通り調べて見るに、誠に大竹村の万兵衛は親孝行、ことに其年の天秤には、燒印を捺して貰い、百文の運上も拂つてゐる、然るを僅かの過失を、殺左に取つて、萬兵衛を引立てやうと云ふは役人の壓制であると云ふ事が分つた。



京城新報

米國新大統領

世界の三大人物と稱せられ現代に於ける奮闘者の權化なりとまで崇拜せられたる米國大統領ルーズベルト氏は任期滿ちて引退しウキリヤム、タフト氏之に替りて就任し米國々民歡呼の中に白館の主人となれり、而してタフト氏の大統領たることは東洋問題の爲めに喜ぶべき乎、將た憂ふ可き乎、我帝國の大陸政策の爲に歡迎すべき乎、之れ余輩が新大統領の就任に就て觀察せんとする所なり

抑もウキリヤム、タフト氏は如何なる人物なる乎、彼は東洋問題に就て如何なる抱負を持し居る乎、其人物は一見温和なる好個の紳士なり、氏はジエームス、ブレイン氏の如く一見直に豪傑なりとは想像せられざるも、唯一個の温和謙讓なる好人物とのみ見るは大なる誤りなり、然れども記憶せよ米國に於て大統領の候補者たるには温情に富める好人物の面影なかる可らず、タフト氏は最も之に適する好標型なり、氏が非島總督として成功したるも、國民の多數に推されて大統領に選擧せられたるも、素より其政策の堅確なるにも依るべしと雖も温和なる好人物たることは與つて力あり、余輩は曾て氏が非島總督時代に訪問して敎を受けたることあり、其後亦華盛頓に於て面謁したることあり、其人に接する極て懇款温情溢るゝが如し、人をして愛慕の念に堪へざらしむるの引力を有す、余輩は華盛頓の中央停車場に於て氏一人にて徒歩し居るを屢々見たり、其動作の極て平民的なるも亦國民の同情を得る所以なり、然り氏は個人としては頗る温和なる好人物なり、然るに大統領としての氏は果して温和なる好人物なるべき乎、之れ抑も疑問なり、ルーズベルト氏が副統領たるときに於ては亦之れ一個の好紳士にして何等人目を引くの擧なかりき、一朝マッキンレー氏に替りて大統領となるや、獅子奮進の勢を以て突貫せり、忽ちにセオードル、ルーズベルトの名は世界に轟けり、タフト氏亦此事なしと云ふ可らず、氏が曾て日本に來りしとき帝國ホテルに於て演說中に内幸町に火災起り猛火炎々衆皆顏色なし氏は自若として其演說を續けて知らざるものゝ如し、人は多く不用意の所に於て其人格現はる、此一端を見るも氏は到底尋常一樣の好人物に非ざるなり、今や白館の主人となりて米國の實權を握る如何なる風雲が氏の手によりて捲き上げらるゝや大に刮目すべきなり

而して氏の東洋問題に對する所見は如何、諸種の報道に依ればルーズベルト氏の政策を踏襲すべしと、夫れ或は然らん、ルーズベルト氏の東洋政策は多くはタフト氏の助言に依る所多し、元來タフト氏は非島總督たりし關係より東洋の事情に精通すると共に日清露の政治家に深き交際あり、故に東洋問題には特に注目を怠らず、ルーズベルト氏の東洋政策を繼承すると雖も其間多少の變態を現出し來るやも知る可らず、氏が帝國ホテルの演說に曰く、世上較もすれば日米戰爭を唱ふ、是れ大なる誤り也日本の如きは韓國に於て大に爲すべき事あり、何の暇りあてか米國と開戰せんや云々と、嗟呼之れ何を意味するの言辭なる乎、惟ふに韓國の事すら未だ容易に經營し得ざる日本が米國と戰爭杯は爲し得ざる也との意味ならん、氏は屢々日本に來れる爲に能く其眞相を知る、然り其眞相を知れる事が果して帝國の極東政策に好影響あるべき乎、余輩は必ずしも喜ぶべき事のみあるべしとは信ぜられず、要するに滿洲問題及韓國問題にも氏の外交的手腕の觸れ來るべきこと多きを思ふ、氏は僅に外交及經世的の巨腕を有するの政治家なり、氏は内政に於て如何にカリフオルニヤに於ける排日問題を解決し外政に於て東洋政策を如何に伸張し來るべきか、余輩は大なる注意を拂て其武者振りを監視せんとするもの也

▲タフト氏就任(桑港電報) タフト氏就任式の演說に合衆國の各州は條約の權利を[illegible]國家を戰爭の危險に陷入らしむる可らずと云へり

東京電報

▲韓國横貫鐵道附托 衆議院本會議に於て韓國横貫鐵道敷設建議案は九名の委員附托となる

▲竹田宮妃御安産 竹田宮妃殿下本日午後二時男子御安産遊はさる

▲國債利子免税 國債利子所得免税案衆議院を通過せり(以上四日發)

▲紀念章費可決 衆議院豫算分科會にて東宮殿下御渡韓紀念章調製費を討議し可決せり

▲内閣機密費可決 衆議院豫算分科會にて内閣機密費を討議し可決せり(以上五日發)

▲横貫鐵道委員 韓國横貫[illegible]互選す 委員長 日向輝武 理事 米田穰[illegible]

▲上院豫算會 上院豫算各分[illegible]

雜報

●帝室債務審査 帝室債務審査會は昨日午後一時より委員會を開く鈴木會長代理以下各委員列席し債務辨償に關する審議をなしたるが同會は兩三回の開會を以て全部の審査を終了し其の上にて支拂ひに着手する筈なりといふ

●三税創始に就て 家屋、酒、及び烟草の三税は先般發布されたる法律により各々課税せらるゝ事となりたるが右に就き當局者の語る所によれば從來韓國に於て該觀察道及び府郡所在地の如き市街地に屬すべき地域には地税は勿論戸税をも課せずして戸税は右の地域以外の村落のみに課し從つて負擔の公平を缺ぐ所あるによりて今年より市街地に對し家屋税を課することゝせられたるものなり又韓國の租税中地税は歳入の八九分を占め制度偏重に失

●陵園墓の整理 陵園墓の地界は崇陵保持の目的の下に殊更に廣潤なる地域を劃當て例へば水原の隆健兩陵、驪州の英、寧兩陵の如き内垓字の地坪さへ頗る廣大にして其の管理人も健陵百十人其の最も少數なる陵と雖も十一人の定員にして各地を通じ陵園の役員三千五百人の多數に上り此等陵園は附屬田畑、山林又た地方によりては漁基、蘆田の貸付より生ずる收益の其の幾分をも所得して生計しつゝあり陵園官吏の如きも定額俸給以外に以上の配當を受け多くは緣故を求めて任官するものなるを以て交迭頗る繁多にして管理の如き自然缺陷たるを免れざりしが昨年六月此等所屬土地を擧げ國有に移屬せしのみならず各陵園墓内垓字と雖も地坪廣大にして少數の職員を以て管理し得ざるものは一定の地界を限り其の地界以外の森林の如きは保安林に編入することゝし同時に各陵園墓に判任官二人を置き相當の給與をなし近距離のものは二陵を兼掌せしめ從來の定員判任官以上百二十七人を八十五人に役員三千四百人を五百人に減員し其の地頽廢の箇所は夫々修繕を加へつゝありと云ふ

●酒税と日本人 韓國政府が本年度歳入不足の補充として酒、烟及家屋の三税を新定したるに付きては在韓國の日本人は此税法に服從すべき義務ありや否やに就き其筋にては目下講究せられつゝある由なるが、若し日本人に服從の義務無しとせば酒の製造、莨の耕作等は自然の結果として日本人の手裡に歸することゝなるべく殊に支那人等は盛んに莨の耕作を爲し韓國人の莨耕作人を壓制するに至るべきなり之れに反して日本人は此税法に服從すべき義務あるものとせば治外法權に就きての解釋問題を生ずべければ韓國政府と日本人との間に於て早晩一問題を惹起するならんと云ふ

●員役内官の解雇 宮中雜役に從事しつゝありし員役の淘汰は整理上頗る難物にして官制改革當時の現在數は四千數百人に上り中に世襲的に服務する元扈衛隊其の他の員役もありて其の間に諸多の弊害多かりしも一時に解雇するあらば直ちに糊口に窮し匪類の群に投ずるものなしとも限らず斯くては民亂を助長する萬一の虞あるより殊更に前後數回に分ちて昨年上半期迄に員役二千百六十六人女官二百二十二人權任巡檢及び別巡檢三百十七人を下半期間に員役千六百四十三人合計四千三百四十八人を解雇し被解雇者に對しては勤續年數に應じて夫々相當の慰勞金を給與し斯て軍隊解散以上の難問題とせられし員役の處分も世人注目の外に極めて圓滿に淘汰し終れり尚從來世評囂々たりし奉侍九人内官百七十二人は一昨年官制改革當時に其全員を罷免し今や一人を剩さずと

●酒税と當局の意向 韓國政府の新定したる酒、莨、及家屋税に對して外國人は韓國人と同じく之れに服從する義務ありや否やの問題は前項記載の如くなるが之れに對する其筋の意見は未だ確定したるもの無く依て之れが意嚮を聞きたるに治外法權とは當該國の法律に從はずとの意味ならず唯其の國の裁判を受くるの義務なしと謂ふにあれば苟も條約に別段の規定無き上は何國人と雖も其國の法律に服從するの義務あり故に此税法を外國人に適用するも敢て不當にあらずと云ふにある由(京城通信所報)

●宮内府植物園建物 宮内府植物園に所屬する培養室及陳列室は昨年建築に着手せるが培養室は建坪百七十一坪陳列室は百八十四坪にして主もに佛國式に依り日本宮内省植物苑の建築物をも參酌して宮内府直營の下に目下工事を急ぎつゝあり

●新内相就任挨拶 朴新内相は過日部内の高等官に對し就任の挨拶をなしたるが昨日は部内判任官一同を集め就任の挨拶を爲したりと

●宮内府廳舍建築 目下宮内府の廳舍は舊時の建物を各院司に充當し昌德宮の内外各所に散在しつゝあり事務取扱上の不便甚しきを以て新に廳舍を建築することゝなり本年四月頃起工十一月頃迄全部竣工の筈なり其の建坪は七百八十坪にして韓國式二階建なりと

●面の合併及改稱 郡廢合の結果同一郡内に同一名稱の面あるにより此れを改稱するの必要あり又行政上の便宜により合併するの必要あるものあり此等の取扱は内部令を以てする事なりと

●韓國享祀の沿革 從來祭祀に關聯せる大小の儀式は繁褥に流るゝさへあるに苟も祭祀と名くるものは帝室の所管に屬すべきものと政府の所管に屬すべきものと又人民の信仰に由るものとを問はず總て宮内府掌禮院の管掌に屬しつゝあるの慣例にして一年中の祭祀回數七百九十二回管理の定員三百五十四人に達し夫れが爲めに多大の冗費と冗員とを要せし次第なるも昨年七月二十三日享祀整正に關する詔勅を發して祭祀を崇重にすると同時に濫瀆の弊害を防遏することゝなり同日更に勅令五十號を以て祭祀の區別、回數の減削合祀廢祀の處分其の他土地建物の管理方法を規定し着々整理せし結果は前記祭祀回數を二百一回に管理人定員を二百五十三人に減削せしのみならず女官四十人をも解職して殆んど其の經費を半減するを得たりと

●安奉線交涉委員 安奉線敷地買收は滿鐵委員と郵傳部委員と立會の上實行することゝなりたるも郵傳部[illegible]の委員を差派することに決せり

●副統監と警察事務 今般曾禰副統監より警察事務執行に關し深く注意戒飭せらるゝ處ありしを以て松井警務局長は直ちに地方各警察部長に書面を以て訓達し若林警視總監は署長會議を開き嚴重戒飭する所ありたりと云ふ而して右の内容は追つて報道すべし

●豫算調査協議終了 仁川民團四十二年度第二豫算調査委員會は昨日午後一時より仁川民團樓上に於いて開かれたるが本會を以て協議を終るの筈なり

●仁川港海底調査 仁川港灣の海底地質調査は昨年末を以て其の全部調査を完了せしが韓國建築所仁川出張所にては尚同港灣中海底地質の調査をなさゞるべからざる地點十個所あるを以て本年度より更に第三期調査を開始することゝし既に去月より砂島附近の地點調査に着手し目下二本目の調査をなし居れりと

●仁川太沽間初航路 仁川大連太沽間航路の初航船山東丸は去る二月仁川に入港し雜貨六十五屯を揚陸したる后滿洲行精米千三百余個を積みて同航路初航の途に着き又仁川大連天津太沽間の初航船酒田丸は一昨日仁川に入港雜貨九十屯を揚陸し精米五百十七叺を積載して同日大連に向ひ仁川を出帆したり

●赤十字社の總會 同社第十七回總會は來る六月上旬を期し東京日比谷公園に於て擧行の豫定なりと

●熊谷民長の豫算說明 京城居留民團の四十二年度豫算編成方針に就き豫算會議に於て熊谷民長の演說したる要旨は左の如し

四十二年度の豫算は既往二ヶ年餘に於ける實地經驗と將來の進運に鑑みて編成したるものなり大体の方針としては緊切止むを得ざるものゝ外斷乎として緊縮主義を取れり節約を守りたる結果四十一年度の剩餘金は一万圓以上に達するものと信ず而して昨年に於ては經濟界も順潮に復せる傾向を示し當居留地の人口は依然增殖の一方にて從て財源も增加しつゝあり全体緊縮主義を採りたるは徒に前途の情勢を悲觀したるに非ず民團財政の基礎を鞏固ならしむる爲めなり一方に於て中學校の如き時勢の要求に應ずるの計を爲せる爲めなり而して京城は韓國の首都にして從て我民團の如きも自ら他と撰を異にし諸般の經營は民團本位に限局する能はざる事情あり從て自然經費の膨脹は免れず例せば馬關神戸大阪橫濱等が交通頻繁の爲に屢々犧牲的經費を要するが如し米國艦隊來航の節東京市民が多大の費用を投じて歡迎したる爲に從來の誤解を一掃したる如く我民團も時として在韓同胞を代表するの場合あり之れ即ち廣き意義に於て其發展を呼號するもの寧ろ愉快也云々と頗る凱切なる演說をなせり

●就學兒童と屆出 明治三十五年四月上(一)日より同三十六年四月に至る間に出生したる兒童は恰も本學年度の學齡に相當するを以て之等の子弟を持つ父兄は本月二十日迄に入學證書に戶籍謄本を添へ民團役所へ屆け出づべしと但し入學證書は民團役所に於て交付すべしと云ふ

●西海岸漁業計畫 韓國西海岸一帶の漁業が清國密漁船の爲め[illegible]西海岸仁川以西の漁業に着手することゝなり新に發布せられたる漁業法に依り既に數十ヶ所の大漁區下附を出願し其筋にても速[illegible]居るは三輪作次郎氏なりと云ふ

●夫役に對する下賜 西韓行幸に際し義州關城に於ける道路[illegible]

●方魚津方面の鰆漁 慶尙南道方魚津方面の鰆漁に從事せる漁船は目下の處五十隻にして初期に於ける半數に過ぎざるが昨今までの漁獲高は約十八萬圓(一尾平均一圓二十錢の計算)に上り一隻の漁獲高四千圓の水揚は敢て奇らしからざる由にて最も好漁なりしは一月にして約九万圓の水揚ありしと云ふ

●荒井次官の着京 荒井度支部次官は三日東京に着したる旨度支部へ通報ありたり

●高崎囑托の辭任 統監府事務囑托男爵高崎安彦氏は今回辭任されたり

東拓の意義

西山生

客あり談偶然東拓の事に及び問ふて曰く抑も東拓の目的は韓國に於て拓殖事業を營むにあることは法律及定欵の明定する所なり而して其會社の業務として列擧せられたる各項は其冒頭に於て拓殖の爲め必要なる云々の文句を冠せざるはなし茲に於てか拓殖の意義果して如何若し之れを**狹義**に解するも尚各般の事業を以て直接若くは間接に拓殖の爲め必要ならずとすべからざるが如し隨て會社營業の範圍を限定すること頗る困難なるの觀あり之れを**廣義**に解せんか半島の事業一として拓殖の爲め必要ならざるはなし

予之れに答へて曰く然り其初め東拓法案の議會の議に上りし際に於ては營業の種類範圍を示すの條項は個別的列擧主義を採りしも修正の結果概括的列擧主義に據りたるの跡を以て見るも會社をして不可能の事業なからしむるの精神を窺ふに難からざるべし客曰く果して然らば斯る總括的事業經營の能力を有する會社にして而かも存立期間に於て百年に涉り營業區域に於て全半島に及び更に必要あらば支店出張所を日本にまで設置するを得べく而して事業として有利なるものは悉く之れを獨占壟斷して餘す所なくんば東拓以外の**在韓個人、會社**は其發展の基礎を蹂躪せらるゝの結果とはならざるか、官權に依りて與へられたる特權と補助が竟に東拓を驕りて**民業の絶滅**を計るものに非ざるなきか

予又答へて曰く**杞人墜天**の憂即ち是なり苟も能ふ所のもの必ずしも總て爲し得るものに非ず、之れが實行は其時代に於ける韓國の狀態、資本の有限、經營者の能力に依りて制限を受くるを常とす、會社の目的とする所の拓殖事業は依て以て韓國の實力を高むると同時に民人の福利を增進し而して我保護の責任を完ふし以て兩國の關係を益深厚ならしむるにあり、所謂會社の目的とする所は輙ち國家が民人發展の手段とする所なり**民業抑壓**にあらずして之れが**助長**にあり此理を外にして焉んぞ拓殖成立の眞意を認むべけんや

本日の集會

▲龍山本願寺 午後七時半より依例伊藤開敎使の說敎あり

▲京城靑年會 午后七時半より旭町四丁目京本基督敎會にて第七回講演會を開會し「雄健なる品性」と題する米澤牧師の講演ある由尙井上雅二氏も出演の由なるが問題は未定なりと

▲南山本願寺 午後七時半より依例說敎あり

公人私人

▲若松兎三郎(元山理事官) 一昨日入京巴城館

▲頴原修一郎(仁川商業會議所長) 一昨日入城浦尾旅館

近事片々

▲民長 官選問題に於て兒王書記官が議會に辨明したる眞相也とて京城日報に揭らる

▲眞相 とて別に替りはない矢張り統監府が官撰を利ありと認めたとの外に理由なし

▲現時 の在留民は土地に對する愛念なし云々矢張り自治の能力がないと云ふに同じ

▲統監 府が利ありと認めた爲め也とは隨分ひどい話である無暗に認めらるゝは困る

▲總て 認定ですることは昔の壓制時代の政治だ今時は斯る無條理は許さぬのである

▲民長 選擧に就き非常の混雜を惹き起し云々とあるが選擧には多少の混雜は免れず

▲其混 雜を厭ふては米國邊では大統領の選擧も廢さねばならぬ左りとは余り附會也

▲熱誠 の余り混雜を生ずる位だから選擧が貴いのである在留民が冷淡なら此事なし

▲然る を選擧に騷ぐから弊ありとすれば一齊に選擧を廢し官選次第に任する外なし

▲國民 新聞は日本の鐵道政策が進捗して國有鐵道の模範なりと論ず隨手變手古の話

▲蘇峯 氏の辨護は益露骨となり來れり而もビスマークさへ失敗せりとは頗る面黑し

▲進步 黨の内輪揉めは近來の珍事政府降服派は始の勢は失せて今は正義派の勝利也

▲改革 派所謂降參派は今や世間より怒罵嘲笑を受け並の人間なら人中に顏は出せぬ

▲除名 されたる犬養派より却て反對に除名されんずる形勢嗚呼有爲轉變の世の中也

▲改革 派の加藤塞天先生入らざる幕合に出で散々傍聽者より嘲罵せらる自業自得

▲三税 廢止案は政友會に於て反對に決て多數黨の橫暴も之に至りて最早堪へ難し矣

▲惡税 廢止に反對して政府に忠義立てして人民の代議士でムるとは呆れ返るなり

▲河野 盤州島田沼南尾崎學堂何れも健在なりや宜しく惡税廢止を叫ぶべし是れ義務也

▲曇天 醒風何となく懶し片々朝來頭痛增々加るに齒痛あり爲に筆路亂る幸に許せよ

▲タフト氏就任 タフト氏就任式は[illegible]台衆國の各州に條約の權[illegible]外國人に對して法治偏頗の心を以て我

▲横貫鐵道委員（東京電報） 韓國横貫鐵道布設建議案は委員會に於て左の通り

▲上院豫算會（米田電報） 上院豫算各分科會は下院の査定の通り可決し九日總會を開く

雜報

●酒井政平の破綻（十二）

……▲悲むべき居留地の問題▲中村再造氏の被告事件眞相……

▲硬派の同盟 これより先き債權者中の硬派十餘名は債權者財團の事務或は委員に依つて圓滿に結局せられざらんかを慮り一の同盟を結び左の規約に從ひ一致の行動を取るべきことに決したり

一、整理案に準據し實行すべき事

二、監理委員に要求する事 監理委員に於て此要求に應ぜざるときは市原熊谷兩氏の盡力を請ふ事

三、兩氏の盡力に由りても尚は決せざる場合に於ては不得已法律上の解決を計る事

▲熊谷氏訪問 債權者會は遂に不結果に了りて到底委員に依つて整理案に準據したる整理を得るの望なきに至りたるを以て同盟決議第二項に從ひ九月二十九日同盟者の總代は熊谷民長を訪問し委員所置の顛末を述べ財團の前途甚だ憂ふべきものあるを告げ民長が厚意の盡力を爲さんことを懇請したり熊谷氏總代に答て曰く目下市原盛宏氏東上不在中なれば何れ同氏の歸城の上氏と熟議して何分の回答に及ばんと

▲第一銀行に於て 十月二十九日市原熊谷兩氏の招きにより債權者中の長島、田村、金部の三氏は第一銀行に赴きたり銀行の一室には市原熊谷の兩氏已に在り亦木村雄二氏も特に列席の上市原熊谷の兩氏開口して曰く「予等の作成したる整理案が今日の有樣に立到りたるは千萬遺憾の次第なり而れども予等は始めよりの各債權者よりの依頼によりて只公平と認むる判定を與へたるものにて實行の責任は擧つて監理委員にあるものにて予等の與るべきことにあらず殊に絶對的服從を宣言したる誓約書に記名調印したる人々が反覆背約の行動を敢てするに至つては今日に於て予等の力を以てするも到底彼等を說服する見込なし故に遺憾千萬ながら今日の御依頼は御斷りなすの外なし

▲頼みの綱は切る 市原熊谷兩氏の言はるゝところは尤の事にて事茲に到りては最早法律の力を籍りて問題の解決を圖るの外道なきに至りたるが之を知りたる曾我勉氏は大に憂慮せられ何とか調停を試んと委員諸氏特に中村委員と同盟派總代諸氏との間に往來せられ亦熊谷民長も個人の資格を以て少なからず調停斡旋の勞を採られたるも如何にせん奏效を奏せずして止みたり

▲危機迫る 左なきだに法律沙汰より外に解決の道なき危機に臨める此時偶危機をして一層早からしめたる事件こそ起りたれ开は外ならず彼の十友會社が酒井政平振出しの約束手形の裏書人たる矢野、長島、前川の三氏に向て償還請求の訴訟を提起したることなり

▲酒井の手形 抑も酒井の振出したる約束手形に裏書せる者は貞島品吉氏を筆頭として其數頗る多しと雖も該手形の所持人たる債權者等は何れも整理案第九條（酒井の財産を處分し不足ありたるとき裏書人より代辨する意味）に從ひ徐ろに整理の進行を待ちつゝあるべき筈なるに十友會社は十一月十一日矢野、長島、前川の三氏に對し酒井の手形金償還請求の訴狀を送達し來れり

●石田三成の後胤

▲長東子孫と共に米澤に在り

石田三成の後胤と稱するもの米澤市に現はれたり其の次第を聽くに三成刎頸の友直江山城守は米澤十五万石を領し居たるが三成の妻女は一人の兒を抱て密かに佐和山を脱して北陸に落ち延び事治つて後越後路を經て米澤に來り堀金村（現今の東置賜郡）に落付き後米澤城下粗町に移り黒澤家に再嫁し三成の兒を黒澤孝三郎と命名せり然るに母は孝三郎を民家に落し表具師を營ましめしが夫れより累世子孫相傳へ來りたり同家は三成の秘書等を數多藏したるも後ち火災に罹りて烏有に歸せり現代の黒澤家の兄某は西置賜郡小出に住し石田を名乘りしも先年死亡せりと又五奉行の一人たる長束政家の三男義三郎は當時水口の城を脱け出し奈良に潜伏し事治つて後米澤に來り直江兼續に從ひ武士となり御扶持方組となり歷世上杉家に仕へて同一の町に住し長束八郎と稱し珍寶を傳へたるが其中大阪城の勇將後藤基次が描ける虎の畫は目下他屋町の針生新太郎氏の許にありといふ

◉深山の美人

▲れふでの素性

れふでの傷所は案外に深く到底賣藥や素人療治にては平癒すべき模樣も見えざるより男は態々女をば釜山に連れ行きてある病院に入院させ一方自分は出來得せ限りの看護を盡し遣りし甲斐ありて廿五日許りの後漸く退院し男と共に再び禮山に立ち歸りしが間も無く男は或る目的から禮山を距る四里許りの德山といふ處に出發することゝなりたるがサテ出發に臨み男は女に向ひ言葉を改めていふやう『此の場合斯く申さば嘸ぞ無情の男と恨むならんも吾は今よりある目的の爲めに德山といふ處に出發せずばならず御身が初めの依頼は吾が身の行先迄連れ行かれかしとの言葉なれど將來此所といつて確と定まらぬ吾が行先サレば此所でれ分れいたし度き程に隨分御達者に……』との情なき言葉を聞きたるれふでは何の返す言葉だに出でず唯顏を掩ひてヨヽと泣くのみ心の中の憂さ悲しさは又さこそありしならん、聽て女は思はず身をば男の膝に摺り寄せ「夫れ言葉御尤とは存じますれどもどうぞ妾しより無理にお願ひ申して此の地に[illegible]尚に不時の災に言ひも盡せぬ手厚き手當て介抱とにヤット一命を免れし此の身体其の御恩返へしもせず此のまゝムザ〳〵と分れ申すことが何うして妾として出來やうぞ一河の流れに水汲みて一樹の陰に宿乞ふも亦他生の緣とやらタトひ此の身は何うならうとも幾分の御恩を報ずる迄れ傍に册づき度く手を合せて願ひ申す」とのことに男も弱り果て腕拱いて暫時默然たる許りなりき（つゞき）

社告

京城龍山紳士錄出版に付

京城龍山聊か公衆の御便利に供せんが爲弊社は近々京城龍山紳士錄を出版するの考に御座候就ては該錄の編輯趣向及び製本の体裁等に關し是非共大方の御示教を仰ぎ度御氣付の御方は何卒弊社へ御垂教を玉はらんことを 敬白

三月 京城新報社

●惡漢の受縛

熊本市阿彌陀寺町四番地當時京城櫻井町に住む酒井新市と僞名せる本名坂井惠三郎（三二）なる惡漢あり其友達に大阪府仲河内郡加美村廿四番地當時京城住所不定無職久保巴捨松（三一）東京市神田區西福田町三當時明治町三無職黒田靜佐郎（三九）此二人は外一人と共に旭町一旭商會に傭はれ職人となりしが漸次信用を得て工場を委されたるを良き機として終に六百圓程遣ひ込みたる爲に本年一月解傭せられ所々を徘徊せる中に前記の惡漢坂井惠三郎と邂逅し茲三人は共謀して旭商會の内幕をあばき金錢を恐喝せんとし本月一日の夜原稿紙に何事か認めつゝ旭商會に至り新聞記者と稱して何事か嚴談して封じの盛金十圓を取りたれども彼等は尚はこりず夫に翌日電信にて主人の在宅を聞き不在なりし故に更に書面にて三十圓を要求したり旭商會にても最早彼等が新聞記者に非ざるを知りたれども惡漢等の事故後難を恐れて其要求を應じ一昨四日の夜彼等の集合所たる本町六丁目の花屋にて渡すことゝしたり然るに早くも此事が長野刑事等の耳に入り坂井は同夜花屋の二階にて捕縛せられ黒田は自宅にて久保田も一時頃に捕縛せられたり憎みても餘りある惡漢共なる哉彼等は是迄種々なる惡事を行ひたるくせ者なりと

◉韓特使の上野縱覽

▲建築術の進步に驚く

閔韓國特使は女官三名其他隨行員一同を伴ひ蜂須賀接伴官武田接伴官の先導に依り二十八日午前十時四十分帝國博物館に赴き股野總長黒川技師等の案内にて新古美術品等を縱覽し次で動物園に赴く筈なりしも降雨の爲め見合せとなり同公園內の精養軒にて午餐を喫したり一行は更に馬車を赤坂なる新築東宮御所に驅り片山内匠頭足立、木子兩技師等の說明に依り樓上樓下隈なく拜觀し新式建築術の進步と其規模の大なるに感歎せりといふ

◉警戒

風强かるべし低氣壓は清國北部に在り最低氣壓七五〇ミリメートル低氣壓の進行方向は東にて警戒區域は北部及中部なり途東牛島烈風の報あり（五日午前十時五十八分仁川觀測所發）

◉天氣豫報（自五日午後六時至六日午後六時）

雨の風強少雨

四日（最高溫度 最低溫度）（華氏）四六、四 二〇、三

四日本日午前六時韓國氣象概況 清國北部に停滯せし低氣壓は漸次東方に移らんとし南又東の風吹き全國惡兆を示せり

警報 低氣壓は清國北部にありて七百五十耗を示す其中心は東に進む區域は韓國北部及中部なり

廣告

韓國西海岸一帶の漁業が清國密漁船の爲めに占領せられ居ることは事實なるが今回頭山滿氏は北海道の或る漁業家と協同し韓國[illegible]十ケ所の大漁區下附を出願し其筋にても遠からず之れが許下をなすべしと云ふ現に目下是等の團体を代表して出願の衝に當り

西韓行幸に際し義州開城に於ける道路修繕に從事したる夫役に對し今回韓皇より御下賜金の御沙汰あり

▲無料紹介欄▼

人事部

從役履歷書 法律事務に心得あり年齢二十三歳 在社（一七〇）

簿記履歷書 に心得あり會社官廳を望む年齢二十六 在社（一七一）

物理學校及中學校卒業の者數學物理日語教師に被雇度地方行にても宜敷俸給不論 姓名在社（一七三）

昨年十一月現役滿期下士 社又は銀行事務員に雇はれたし可成は韓國側官省の事務員を望む履歷書は何時にても持參 姓名在社（一七九）

店員數名職工數名募集 京城御成町 岡本染色工場（一八二）

小學敎員免許狀有し多年敎員經驗有良家の家庭敎師を望む履歷書御望次第送附す 姓名在社（一八二）

敎員免狀有し多年敎育事業に經驗有り韓人兩班の日語敎師を望む委細は面談 姓名在社（一八三）

年齡二十五中等敎育有り煩雜多忙なる事務に從事したし唯明晳なる頭腦を有するに非ず至極達筆ならず稍文章に長ず履歷書面談何にても不苦 姓名在社（一八四）

用達業に多年經驗を有す給料望まず雇はれたし （姓名在社一八五）

求職業 友人歳二十才普通敎育あり會社事務員に雇われたし從來外國商館に勤め商店及社內河村（一八六）但會話に心得あり

店員入用 二十才以下にして身元保證人ある者 明治町一 西山商店（一八七）

でつち入用 十八歳以下にして身元保證人ある者 龍山元町三丁目三四三日韓組白米小賣店（一八八）

物件部

貸間 二階六疊二個床間押入付 至急貸したし 京仁商會 旭町一の六十（一六一）

雜貨 見切品見世仕舞品及諸道具其他不用品何でも買入ます 旭町一丁目 旭町競賣所（一六二）

賣家 大和町三丁目遊廓裏道川端地坪約五十坪瓦葺平家造作付西軒建長家并戶付屋敷賣却致度 赤門 間（一六八）

貸間 旭町便利の場所に賄付上等貸間あり高等官亦會社員向御希望の方は電話六五九番に御紹介致下度候（一六九）

旭町一丁目山の手にて風景絕佳の土地建物付にて讓り度し 姓名在社（一七五）

息致院近傍にて田畑二十余町歩納家二棟農具各種小作又は讓渡しの相談に應す 姓名在社（一七七）

貸家 京城明治町二丁目所在二階建五間疊建具完備勝手元用水便利也家賃十五圓、廿圓、卅五圓 明治町角藤田合名會社貸家係（電話二三〇）（一七八）

貸地 龍山青坡契（彌樂座横）千五百坪便利貸附住候風景絕佳住宅向 京城北米倉町一丁目 永田質店（一八〇）

廣告